

こころのはな



4年生「つくればいいでしょ」～個性の伸長～

「難しいと思うとすぐあきらめるところ」自分の短所はすぐに見つかったが、長所は全く見つけられない「わたし」。母に相談してみると、「見つからなければ、つくればいいでしょ。」と言われます。言葉の意味がよく分からず、長所が見つからず悩んでいると、友だちの愛子から長距離走の練習に誘われます。練習を始めたころは、苦しくて何度もやめたいと思った「わたし」でしたが、自分の短所を変えたいと思い、やめずに頑張りました。練習を続ける中でタイムがどんどん伸びてきて、自分は長距離に向いているかもしれないという自信もついてきて、「つくればいいでしょ」と言われた言葉の意味が分かるようになってきました。

授業の初め、子どもたちに「自分の『長所』と『短所』は、どんなところかな？」と尋ねました。すると、半分以上の子どもたちが、自分の短所はたくさん思い浮かぶものの、長所はなかなか思い浮かばないという様子でした。しかし、「つくればいいでしょ」の話を読み、みんなで話し合っていく中で、子どもたちは、「短所は努力することで改善できる」「長所はあきらめずに続けて取り組むことでつくることができる」ということに気づいていき、自分の短所を減らし、長所をどんどん増やしていきたいという意欲を高めていました。

見つけよう！みんなの「いいね！」ポイント

「つくればいいでしょ」の学習に合わせて、学級のみんなの「いいね！ポイント」を見つけ合う活動をしました。友だち一人一人のよさについて考え、それぞれのよさをワークシートに書いていきました。手を止めることなく、さらさらと書いていく姿が印象的でした。

自分のワークシートが戻ってきた時に、友だちが書いてくれた自分の「いいね！ポイント」を見て、子どもたちは本当に嬉しそうにしていました。自分のよさは、自分ではなかなか気づきにくいものですが、友だちが見つけてくれた「いいね」を大切に、自信をもって、そのよさを生かして行ってほしいです。また、友だちのよさを真似しながら、自分のよさを増やすことや、新たに找けた友だちの「いいね」を積極的に伝えることも大切にしてほしいと思います。

ご家庭でも、毎日頑張っている子どもたちのよさを、ぜひ本人に伝えてあげてください。

学習の振り返りから

- ・とーっってもうれしかった！ありがとう！
- ・友だちのいいところがありすぎて書き切れないほどでした。
- ・自分で考えたときには、短所ばかり見つかったけど、周りの友だちがこんな風に見ていてくれるんだと分かってうれしかったです！
- ・友だちのいいねを探して、たくさんよさがあると気づきました。もっと見つけたいです。
- ・友だちに自分の思っていることを伝えられてよかったです。またしたいです。

